



BSSR Japan NEWS LETTER No. 14

2019. 6.15

第 13 回臨床ストレス応答学会大会開催報告

第 13 回大会長 鳥越 俊彦 (札幌医科大学医学部病理学第一講座)

2018 年 10 月 26～27 日、グランドパーク小樽において、第 13 回臨床ストレス応答学会大会を開催しました。多くの会員の皆様にご参加いただきまして、心より御礼を申し上げます。前身の臨床ストレスタンパク質研究会を含めると第 23 回目となる本大会では、細胞ストレス応答の関わる重要な生命現象および疾患として細胞老化、免疫、がんの 3 点にフォーカスを絞り、特別講演と 2 つのシンポジウムを催しました。特別講演では、ジョーンズ・ホプキンス大学の Nilabh Shastri 教授をお招きし、"Immune surveillance under stress"のタイトルでご講演いただきました。またシンポジウム 1・2 では、「がん・免疫と細胞ストレス応答」および「細胞ストレスと細胞老化」をテーマとして、それぞれ 4 名のシンポジストによるホットな講演と討論が行われました。生化学・免疫学・病理学等の枠を越えた分野横断的な議論によって、生命医科学における細胞ストレス応答の重要性を浮き彫りにし、次世代医療への応用まで展望することができたのではないかと思います。また、一般演題と若手研究奨励賞候補者発表においても、活発な討論が展開され、大変有意義な大会となりました。参加者の皆様には会議だけでなく、運河の街、小樽を楽しんでいただけたと思います。本大会の開催にあたりましては、多くの企業および学術団体からも協賛・ご支援をいただきました。ここに改めて御礼を申し上げます。

令和の幕開けとともに学会名称が新しくなります。新生 BSSR Japan 大会は大阪で開催されます。さらなる発展を目指して、会員の皆様にはどうぞよろしくお願いいたします。

令和元年 6 月

札幌医科大学医学部 病理学第一講座

教授 鳥越 俊彦

臨床ストレス応答学会若手研究奨励賞

2018年度第7回若手研究奨励賞は、徳永文稔選考委員長をはじめとする4名の選考委員の厳正な審査のもと、以下の3名の先生が選ばれ、懇親会において授賞式が行われました。

杉山 崇史（宮崎大学医学部機能制御学講座機能生化学分野）

「中枢神経における小胞体品質管理機構の破綻に起因する運動障害」

駒倉 啓大（大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学）

「自然免疫制御に関わる新規脱ユビキチン化酵素（OTUD1）の同定と生理機能解析」

菊池 泰弘（札幌医科大学医学部病理学第一講座）

「HLA-A24 に提示される Long non coding RNA 由来ペプチドの同定」

2018年度 若手研究奨励賞選考委員

徳永 文稔（大阪市立大学）選考委員長

青江 知彦（帝京大学）

足立 弘明（産業医科大学）

中井 彰（山口大学）

第14回 日本臨床ストレス応答学会大会のご案内

新元号令和への改元と時を同じくして、本年度、臨床ストレス応答学会は日本臨床ストレス応答学会と改称しました。この新機運の中、第14回大会を大阪市の大阪市立大学阿倍野キャンパスにて開催させていただくことになり、大会長としてご挨拶申し上げます。

生物は常時様々なストレス侵襲を受けており、各種生体防御応答を介して生体の恒常性維持に努めています。しかしながら、ストレスの過剰蓄積は生体を損傷し、がん、免疫疾患、神経変性疾患、動脈硬化・代謝疾患、精神疾患などの疾病を惹起します。本学会は1996年に由良隆先生（京都大学名誉教授）が立ち上げられた臨床ストレス蛋白質研究会が前身となり、細胞ストレス応答の生理機能とその破綻が引き起こすヒト疾患病態の解明及び創薬への貢献という目標に向かって多様な分野の基礎・臨床研究者が一堂に会し、討議しています。

本大会では、特別講演としてASKファミリー分子の様々なストレス応答制御のご研究で著名な東京大学の一橋秀憲先生をお招きし、「細胞がストレスを感じる仕組みと疾患」のタイトルでご講演いただきます。またシンポジウムは、科研費新学術領域研究として先駆的な異分野連携研究を推進されている「ケモユビキチン班」及び「数理シグナル班」と共催し、それぞれ領域長の佐伯泰先生（東京都医学総合研究所）、武川睦寛先生（東京大学）の企画によって行われます。さらに、ランチョンセミナーでは愛媛大学の澤崎達也先生によるコムギ無細胞タンパク質発現系を用いた網羅的なタンパク質アレイ構築と活用を紹介させていただきます。一般演題は基本的にすべて口頭発表とし、若手研究奨励賞候補者にはポスター討論も行っていただきます。本年度も5名程度の表彰を予定していますので、多数の若手研究者の応募をお待ちしております。

また、会議だけでなく活気溢れる都市・大阪を楽しんでいただければ幸いです。深秋の大阪に多数のご参加を心よりお待ちしております。

令和元年6月吉日

第14回日本臨床ストレス応答学会大会長

大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学（生化学第一）

教授 徳永 文稔

The Biomedical Society for Stress Response, Japan

会期：2019年11月2日（土）、3日（日）

会場：大阪市立大学阿倍野キャンパス内

大阪市阿倍野区旭町 1-4-3

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/access#abeno>

39歳以下の若手研究者による優れた研究を表彰し奨励する目的で、「日本臨床ストレス応答学会若手研究奨励賞」を選考いたします。

詳細は演題申込方法をご覧ください。また、下記の特別講演1題、シンポジウム、ランチョンセミナーを予定しています。

特別講演

11月2日（土）午後

一條 秀憲 教授 「細胞がストレスを感じる仕組みと疾患」

（東京大学大学院薬学系研究科細胞情報学教室）

シンポジウム

11月2日（土）午後

「タンパク質分解とストレス応答」

佐伯 泰 博士（東京都医学総合研究所蛋白質代謝研究室）

村田 茂穂 教授（東京大学大学院薬学系研究科蛋白質代謝研究室）

沖米田 司 教授（関西学院大学理工学部生命医化学科膜タンパク質制御学）

山野 晃史 博士（東京都医学総合研究所ユビキチンプロジェクト）

共催：新学術領域研究「ケモテクノロジーが拓くユビキチンニューフロンティア」

11月3日（日）午前

「ストレス応答シグナルと疾患研究のフロンティア」

武川 睦寛 教授（東京大学医科学研究所分子シグナル制御分野）

井上 純一郎 教授（東京大学医科学研究所分子発癌分野）

道上 達男 教授（東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻）

内田 浩二 教授（東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻）

共催：新学術領域研究「数理解析に基づく生体シグナル伝達システムの統合的理解」

ランチョンセミナー

11月3日（日）午後

「ヒトプロテインアレイを用いた抗体評価技術」

澤崎 達也 教授（愛媛大学プロテオサイエンスセンター無細胞生命科学部門）

大会事務局：

第14回日本臨床ストレス応答学会大会事務局

〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3

大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学内

Tel: 06-6645-3720 Fax: 06-6645-3721

e-mail: bssrj2019@med.osaka-cu.ac.jp

The Biomedical Society for Stress Response, Japan

大会参加費： 一般 5,000円 学生 2,000円
学会当日、受付にてお支払いください。

事前参加申込方法：

参加登録は大会ホームページから登録してください。

<http://bssr.jp/endai/>

事前参加申込締切：2019年10月18日（金）

演題申込方法：

本学会の一般演題発表者としてのお申込みは、一人一題に限られます。ただし、他の演題の共著者になることは差し支えありません。また、発表者は本学会員に限ります。申込みには事前参加登録及び年会費の振込みが必要です。

演題応募締切：2019年8月30日（金）

演題申し込み要領は学会ホームページをご覧ください。

<http://bssr.jp/endai/>

若手研究奨励賞について：

日本臨床ストレス応答学会では、若手研究者による優れた研究を表彰し奨励する目的で、「日本臨床ストレス応答学会若手研究奨励賞」を設けます。応募資格・応募方法・選考方法・授賞式に関する詳細は下記の通りです。

- 応募資格: 第14日本回臨床ストレス応答学会大会当日(2019年11月2日)において、39歳以下の若手研究者。
- 応募方法: 演題応募時、抄録ファイルに「若手研究奨励賞に応募する」と記載すること。
- 選考方法: 若手研究奨励賞への応募演題は大会中に口演およびポスター形式でご発表いただきます。抄録と発表内容を4名の選考委員が審査し、5名程度の受賞者を選出します。
- 授賞式 大会1日目（11月2日）の懇親会において、会長より賞状並びに副賞（賞金）が授与されます。

第 14 回大会実行委員会

委員長：徳永 文稔（大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学）

委員：

足立 弘明（産業医科大学医学部神経内科）
伊藤 英晃（秋田大学大学院理工学研究科生命科学専攻）
今泉 和則（広島大学大学院医系科学研究科分子細胞情報学）
鵜殿 平一郎（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻）
及川 大輔（大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学）
小亀 浩市（国立循環器病研究センター分子病態部）
塩田 正之（大阪市立大学大学院医学研究科研究支援プラットフォーム）
柴田 亮行（東京女子医科大学医学部病理学第一講座）
鳥越 俊彦（札幌医科大学医学部病理学第一講座）
中井 彰（山口大学大学院医学系研究科医化学講座）
永井 義隆（大阪大学大学院医学系研究科神経難病治療学）
西頭 英起（宮崎大学医学部機能生化学）
樋口 京一（信州大学大学院医学研究科加齢適応医科学系加齢生物学分野）
養王田 正文（東京農工大学大学院工学府生命機能科学部門）

（五十音順）

大会事務局：

第14回日本臨床ストレス応答学会大会事務局
〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3
大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学内
Tel: 06-6645-3720 Fax: 06-6645-3721
e-mail: bssrj2019@med.osaka-cu.ac.jp

学会事務局：

札幌医科大学医学部病理学第一講座内
Tel: 011-611-2111（内線26910） Fax: 011-643-2310
e-mail: BSSR@sapmed.ac.jp

The Biomedical Society for Stress Response, Japan

学会役員・幹事・評議員

学会役員（2018年4月1日～2020年3月31日）

会長	鳥越 俊彦	（札幌医科大学医学部 教授）
副会長	徳永 文稔	（大阪市立大学大学院医学研究科 教授）
総務	永井 義隆	（大阪大学大学院医学系研究科 教授）
会計	親泊 政一	（徳島大学先端酵素学研究所 教授）
広報	足立 弘明	（産業医科大学医学部 教授）
企画	鵜殿 平一郎	（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授）
企画	中井 彰	（山口大学大学院医学系研究科 教授）
企画	養王田 正文	（東京農工大学大学院工学府 教授）
企画	横田 伸一	（札幌医科大学医学部 教授）
監事	柴田 亮行	（東京女子医科大学医学部 教授）
アドバイザー	永田 和宏	（京都産業大学総合生命科学部 教授）
	佐藤 昇志	（札幌医科大学医学部 名誉教授）
	野村 馨	（大月市立中央病院）
	田中 啓二	（東京都医学総合研究所 所長）
	伊藤 英晃	（秋田大学大学院理工学研究科 教授）

学会幹事

青江 知彦	帝京大学ちば総合医療センターペインセンター
足立 弘明	産業医科大学医学部神経内科学講座
跡見 順子	東京農工大学工学府材料健康科学
石垣 診佑	名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学寄附講座
一條 秀憲	東京大学大学院薬学系研究科細胞情報学教室
伊藤 英晃	秋田大学大学院理工学研究科生命科学専攻
今泉 和則	広島大学大学院医系科学研究科分子細胞情報学
今本 尚子	理化学研究所開拓研究本部今本細胞核機能研究室
鵜殿 平一郎	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻腫瘍制御学講座免疫学分野
漆谷 真	滋賀医科大学内科学講座、脳神経内科
大塚 健三	中部大学応用生物学部
親泊 政一	徳島大学先端酵素学研究所生体機能学分野
甲斐 広文	熊本大学大学院医学薬学研究部先端生命医療科学部門分子機能薬学講座
久保田 広志	秋田大学大学院工学資源学研究科・工学資源学部生命化学科基礎生命化学講座
小林 聡	同志社大学大学院生命医科学研究科医生命システム専攻
柴田 亮行	東京女子医科大学医学部病理学第一講座
高橋 良輔	京都大学附属病院神経内科
田村 保明	北海道大学フード&メディカルイノベーション推進本部難治性疾患治療分野
徳永 文稔	大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学
鳥越 俊彦	札幌医科大学医学部病理学第一講座
内木 宏延	福井大学医学部分子病理学
中井 彰	山口大学大学院医学系研究科医化学分野
永井 義隆	大阪大学大学院医学系研究科神経難病認知症探索治療学寄附講座

The Biomedical Society for Stress Response, Japan

永田 和宏	京都産業大学総合生命科学部生命システム学科
西頭 英起	宮崎大学医学部機能生化学
長谷川 隆文	東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座神経内科学分野
原 勲	和歌山県立医科大学医学部泌尿器科学教室
樋口 京一	信州大学大学院医学研究科加齢適応医科学系加齢生物学分野
藤田 潤	京都大学医学研究科遺伝医学講座放射線遺伝学
堀 修	金沢大学医薬保健研究域医学系神経分子標的学講座
松岡 雅人	東京女子医科大学衛生学公衆衛生（一）
森 和俊	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻生物物理学教室・ゲノム情報分野
山本 雄造	秋田大学医学系研究科消化器外科
養王田 正文	東京農工大学大学院工学府生命機能科学部門
横田 伸一	札幌医科大学医学部微生物学講座
涌井 秀樹	秋田大学大学院工学資源学研究科生命科学専攻疾患生物学研究室

以上 36 名（五十音順）

学会評議員

青江 知彦	帝京大学ちば総合医療センターペインセンター
秋吉 一成	京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻生体機能高分子分野
足立 弘明	産業医科大学医学部神経内科学講座
跡見 順子	東京農工大学工学府材料健康科学
石垣 診佑	名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学寄附講座
一條 秀憲	東京大学大学院薬学系研究科細胞情報学教室
伊藤 英晃	秋田大学大学院理工学研究科生命科学専攻
今泉 和則	広島大学大学院医系科学研究科分子細胞情報学
今本 尚子	理化学研究所開拓研究本部今本細胞核機能研究室
岩脇 隆夫	群馬大学・先端科学研究指導者育成ユニット
鵜殿 平一郎	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻腫瘍制御学講座免疫学分野
漆谷 真	滋賀医科大学内科学講座、脳神経内科
江口 傑徳	岡山大学大学院医歯薬総合研究科歯科薬理学分野
及川 大輔	大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学
大塚 健三	中部大学応用生物学部
親泊 政一	徳島大学先端酵素学研究所生体機能学分野
小山田 正人	藤女子大学人間生活学部食物栄養学科
甲斐 広文	熊本大学大学院医学薬学研究部先端生命医療科学部門分子機能薬学講座
勝野 雅央	名古屋大学大学院医学系研究科神経内科
金関 貴幸	札幌医科大学医学部病理学第一講座
木村 洋子	静岡大学大学院農学研究科応用生物化学専攻
久保田 広志	秋田大学大学院工学資源学研究科・工学資源学部生命化学科基礎生命化学講座
桑田 一夫	岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科
小亀 浩市	国立循環器病研究センター分子病態部
後藤 知己	熊本大学教育学部養護教諭養成課程
小林 聡	同志社大学大学院生命医科学研究科医生命システム専攻
小林 正伸	北海道医療大学看護福祉学部生命基礎科学講座
笹栗 靖之	産業医科大学第二病理学

The Biomedical Society for Stress Response, Japan

佐藤 昇志	札幌医科大学医学部
佐原 弘益	麻布大学獣医学部
柴田 亮行	東京女子医科大学医学部病理学第一講座
関山 敦生	大阪大学大学院薬学研究科先制心身医薬学寄附講座
祖父江 元	名古屋大学大学院医学系研究科脳神経病態制御
高橋 良輔	京都大学附属病院神経内科
武内 敏秀	大阪大学医学系研究科神経難病認知症探索治療学寄附講座
田中 啓二	東京都医学総合研究所
田村 保明	北海道大学フード&メディカルイノベーション推進本部難治性疾患治療分野
田村 裕	千葉大学大学院医学研究院
千葉 進	札幌山の上病院神経内科臨床脳神経研究施設
徳永 文稔	大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学
鳥越 俊彦	札幌医科大学医学部病理学第一講座
内木 宏延	福井大学医学部分子病理学
中井 彰	山口大学大学院医学系研究科医化学分野
永井 義隆	大阪大学大学院医学系研究科神経難病認知症探索治療学寄附講座
永田 和宏	京都産業大学総合生命科学部生命システム学科
西田 憲生	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部ストレス制御医学分野
西頭 英起	宮崎大学医学部機能生化学
野村 馨	大月市立中央病院総合診療
長谷川 隆文	東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座神経内科学分野
原 勲	和歌山県立医科大学医学部泌尿器科学教室
樋口 京一	信州大学大学院医学研究科加齢適応医科学系加齢生物学分野
久留 一郎	鳥取大学大学院医学系研究科機能再生医科学専攻遺伝子再生医療学講座再生医療学分野
藤木 幸夫	九州大学大学院理学研究院生物科学部門
藤田 潤	京都大学医学研究科遺伝医学講座放射線遺伝学
古橋 真人	札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座
堀 修	金沢大学医薬保健研究域医学系神経分子標の学講座
増井 憲太	東京女子医科大学医学部病理学第一講座
増本 純也	愛媛大学大学院医学系研究科ゲノム病理学分野
松岡 雅人	東京女子医科大学衛生学公衆衛生（一）
水内 将人	札幌医科大学医学部産婦人科学講座
森 和俊	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻生物物理学教室・ゲノム情報分野
山田 健人	慶應義塾大学医学部病理学教室
山本 雄造	秋田大学医学系研究科消化器外科
養王田 正文	東京農工大学大学院工学府生命機能科学部門
横田 伸一	札幌医科大学医学部微生物学講座
吉田 賢右	京都産業大学工学部生物工学科
吉森 保	大阪大学微生物病研究所
涌井 秀樹	秋田大学大学院工学資源学研究科生命科学専攻疾患生物学研究室
和田 郁夫	福島県立医科大学医学部附属生体情報伝達研究所細胞科学研究部門

以上69名（五十音順）

The Biomedical Society for Stress Response, Japan

~ Cell Stress Society International からのお知らせ ~

**IXth International Congress on Stress Responses in Biology and Medicine
San Diego, California, November 10-14, 2019.**



Abstract deadline: July 15, 2019

Principal Organizer:

Professor Antonio De Maio, University of California San Diego

Co-organizers:

Cristina Bonorino, Helen Neumann, Larry Hightower

Speakers:

Elizabeth Craig, University of Wisconsin-Madison

Ian Brown, University of Toronto

Stuart Calderwood, Harvard Medical School

Melody Clark, British Antarctic Survey

Don W. Cleveland, University of California San Diego

Ana Maria Cuervo, Albert Einstein College of Medicine

Michael Karin, University of California San Diego

Amy S. Lee, USC Norris Comprehensive Cancer Center

Gabriella Santoro, University of Rome Tor Vergata

Ariel Shabtay, Newe Ya'ar Research Center

Dennis Thiele, Duke University

Harm Kampinga, University Medical Center Groningen

Cristina Bonorino, PUCRS/UCSD

Elizabeth Repasky, Roswell Park Cancer Institute

～ 会則変更に関するお知らせ ～

第13回臨床ストレス応答学会大会（2018年10月26～27日、グランドパーク小樽）におきまして、幹事会・評議員会・総会の承認を経て会則が変更となりました。会員の皆様にご報告を申し上げます。

会則第1条（名称）

本学会は「日本臨床ストレス応答学会」と称する。

英文名は” The Biomedical Society for Stress Response, Japan (BSSR Japan)” とする。

会則第6条（役員を選任および任期）

4. 評議員は原則として評議員会に出席しなければならない。特別な理由なく、3年間連続して評議員会を欠席した評議員は、幹事会における審議を経て、評議員資格を喪失することがある。

～ 事務局からのご連絡 ～

入会手続き：

学会ホームページから手続きをお願い致します。

<http://bssr.jp/nyukai/>

年会費：

一般会員 5,000 円 学生会員 3,000 円 企業賛助会員 50,000 円

以下の郵便口座へお振込ください。

加入者名：臨床ストレス応答学会

口座番号：02730-3-64452

大会ポスターについて：

第14回日本回臨床ストレス応答学会大会のポスターを事務局に用意しております。できるだけ多くの基礎・臨床研究者に参加していただくため、ポスターを配布して宣伝させていただきますようお願い申し上げます。事務局まで必要枚数をお知らせ下さい。

日本臨床ストレス応答学会事務局

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目

札幌医科大学医学部病理学第一講座内 金関貴幸

TEL: 011-611-2111 (内線 26910) FAX: 011-643-2310

e-mail: BSSR@sapmed.ac.jp

ホームページ：<http://bssr.jp>